

令和2年度 環境保全報告書

富士チタン工業株式会社
神戸工場

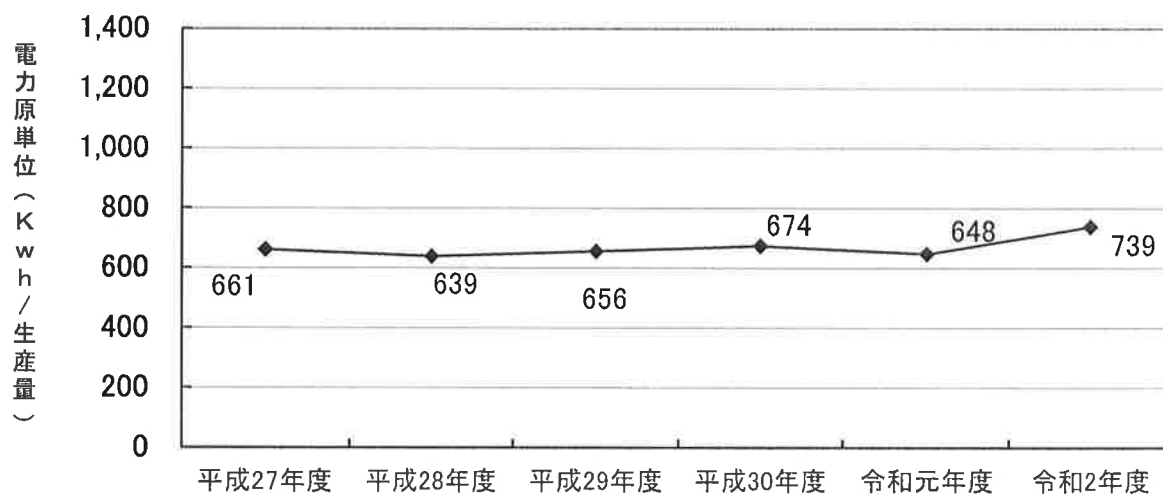
1. 重点目標の実施状況
 - 1) 省エネルギーの推進
 - 2) 廃棄物の減量化の推進
2. 公害防止対策に係る報告
 - 1) 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策
 - 2) 公害防止対策に係る調査・測定結果
3. 公害防止対策以外の環境保全活動に係る報告

令和3年6月30日

1. 重点目標の実施状況

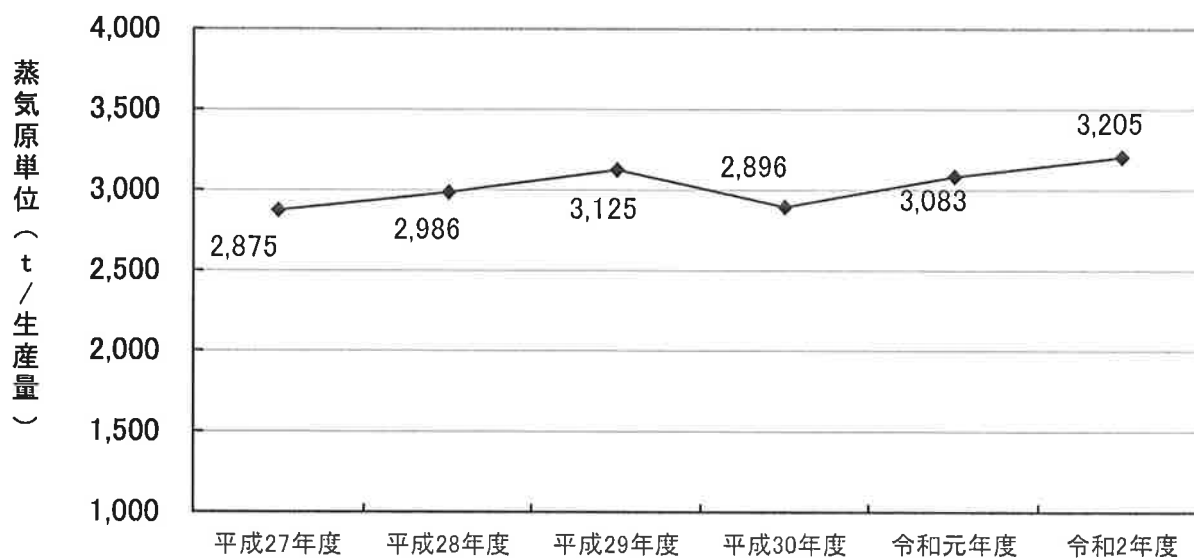
1) 省エネルギーの推進

①電力原単位実績推移



※令和2年度電力原単位の悪化は操業度が低下したことによる。

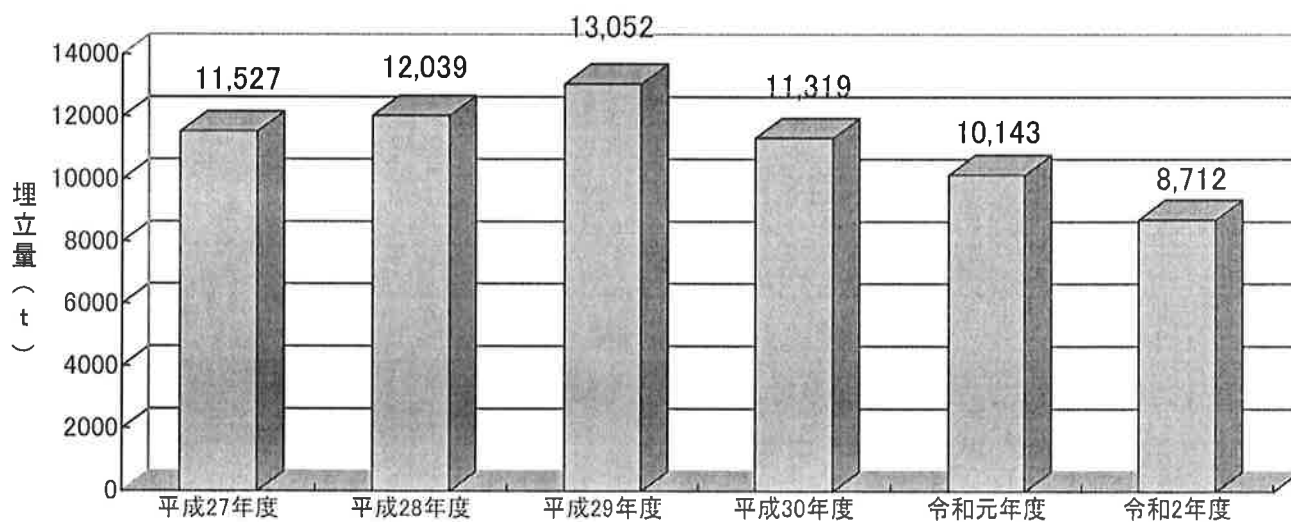
②蒸気原単位実績推移



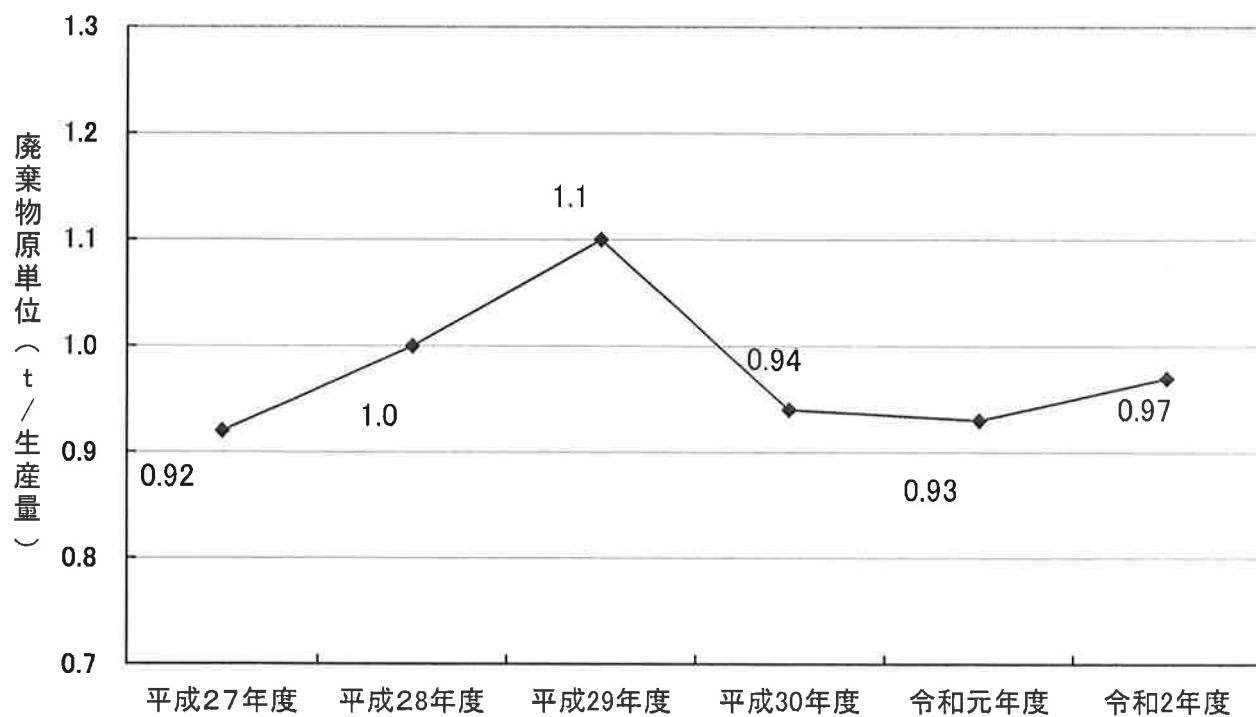
※令和2年度蒸気原単位の悪化は、操業度が低下したことによる。

2) 廃棄物の減量化の推進

① 廃棄物埋立量推移



② 廃棄物原単位実績推移



2. 公害防止対策に係る報告

1) 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成の措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙（いおう酸化物、ばいじん、窒素酸化物）、有害大気汚染物質排出規制の遵守	排ガス処理施設の維持管理により遵守できた。	<ul style="list-style-type: none"> ◆排ガス処理施設の適正な維持管理を努めるとともに、目標値の遵守状況を確認した。 ◆月1回SO₂計校正の実施 ◆年1回SO₂計の定期検査の実施
水質汚濁防止対策	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	2020年6月の大雨時にNo.2排出口の浮遊物質量(ss)が目標値を超過した。それ以外は、排出にかかる目標値をすべての測定結果が満たしていた。	◆排水処理施設の適正な維持管理を努めるとともに、目標値の遵守状況を確認した。
	富栄養化防止対策の推進(窒素・リンの排出量の削減)	COD・窒素・リンの排出にかかる目標値において、基準値以下で管理ができた。	◆令和2年4月1日～令和3年3月31日、水質自動測定装置で連続測定を実施した。
騒音・振動防止対策	「騒音規制法」及び、「兵庫県条例」に定める基準の遵守	令和2年度は、騒音に対する地域クレームは発生しなかった。	◆騒音発生機械の定期的点検も実施した。
悪臭防止対策	「悪臭防止法」及び、「兵庫県条例」に定める基準の遵守	令和2年度は悪臭に関する地域クレームは発生しなかった。	◆排ガス洗浄設備の定期的な点検整備を行い、洗浄水等の日常管理を行った。
産業廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ①「廃棄物処理法」に基づき適正管理を行う。 ②廃棄物の発生量を抑制する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①マニフェストにより廃棄物の適正処理を行った。 ②原単位は前年度比で0.04ポイントの悪化となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆工程ロスの低減等の対策を行った。 ◆廃棄物の分別と適正廃棄を実施した。

2) 公害防止対策に係る調査・測定結果

①大気汚染物質の年間総排出量の把握

	令和2年度目標値	令和2年度実績値
いおう酸化物	4.27ト/年以下	3.30ト/年
ばいじん	69Kg/年以下	79Kg/年
窒素酸化物	13.14ト/年以下	11.30ト/年

②地球温暖化防止対策（CO₂排出量の把握）

※ 平成2年（1990年：京都議定書制定）：CO₂削減の基準年

	平成2年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)	令和元年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)	令和2年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)
燃料等の使用	27,269	13,007	11,126
電気事業者から供給 された電気の使用	7,168	5,503	4,781
合計	34,437	18,510	15,907
生産量（千トン）	—	11.1	9.0
原単位	—	1.67	1.77

③令和2年度 排出水の汚染状態測定結果

(1) NO. 1 排水口 (A排水口)

項目	[単位]	管理目標値 (括弧内数値は日間 平均値での許容限度)	測定値		測定回数	目標値を超過 した測定回数	目標達成判定	法令基準達成判定		
			最大 (PHは 最大～ 最小)	平均						
法令排水基準 設定項目 (有害物質項目)	1	カドミウム及びその化合物	[mg/l]	0.02 以下	ND		9	0	○	○
	2	シアン化合物	[mg/l]	0.6 以下	ND		9	0	○	○
	3	鉛及びその化合物	[mg/l]	0.08 以下	ND		9	0	○	○
	4	六価クロム化合物	[mg/l]	0.30 以下	ND		9	0	○	○
	5	総水銀(水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物)	[mg/l]	0.005 以下	ND		9	0	○	○
法令排水基準 設定項目 (生活環境項目)	6	水素イオン濃度 (pH)	[-]	6.1 以上 8.3 以下	7.6 ～ 6.3	7.0	9	0	○	○
	7	生物化学的酸素要求量 (BOD)	[mg/l]	60 (40) 以下	4.3	1.9	9	0	○	○
	8	化学的酸素要求量 (COD)	[mg/l]	30 (18) 以下	7.0	3.9	9	0	○	○
	9	浮遊物質 (SS)	[mg/l]	20 (15) 以下	9	5.1	9	0	○	○
	10	n-ヘキサン抽出物質	[mg/l]	2.5 以下	ND		9	0	○	○
	11	フェノール類	[mg/l]	0.8 以下	ND		9	0	○	○
	12	溶解性鉄	[mg/l]	2 以下	0.09	0.06	9	0	○	○
	13	溶解性マンガン	[mg/l]	4 以下	0.24	0.10	9	0	○	○
	14	クロム	[mg/l]	2 以下	ND		9	0	○	○
	15	窒素	[mg/l]	35 (30) 以下	12.0	6.52	9	0	○	○
	16	燐	[mg/l]	0.8 (0.5) 以下	0.03	0.03	2	0	○	○
法令排水基準 未設定項目										

(2) NO. 2 排水口 (B排水口)

項 目 [単位]	管理目標値 (括弧内数値は日間 平均値での許容限度)	測定値		測定 回数	目 標 値 を 超 過 し た 測 定 回 数	目 標 達 成 判 定	法 令 基 準 達 成 判 定	
		最大 (PHは 最大～ 最小)	平均					
法令排水基準設定項目 (有害物質項目)	1 カドミウム及びその化合物 [mg/l]	0.02 以下	ND		9	0	○	○
	2 シアン化合物 [mg/l]	0.6 以下	ND		9	0	○	○
	3 鉛及びその化合物 [mg/l]	0.08 以下	0.01		9	0	○	○
	4 六価クロム化合物 [mg/l]	0.30 以下	ND		9	0	○	○
	5 総水銀(水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物) [mg/l]	0.005 以下	ND		9	0	○	○
法令排水基準設定項目 (生活環境項目)	6 水素イオン濃度 (pH) [-]	6.1 以上 8.3 以下	8.1～ 7.0	7.5	9	0	○	○
	7 生物化学的酸素要求量 (BOD) [mg/l]	60 (40) 以下	2.4	1.0	9	0	○	○
	8 化学的酸素要求量 (COD) [mg/l]	30(18) 以下	12.0	4.8	9	0	○	○
	9 浮遊物質量 (SS) [mg/l]	20 (15) 以下	100	19	9	1	○	○
	10 n-ヘキサン抽出物質 [mg/l]	2.5 以下	ND		9	0	○	○
	11 フェノール類 [mg/l]	0.8 以下	ND		9	0	○	○
	12 溶解性鉄 [mg/l]	2 以下	0.48	0.30	9	0	○	○
	13 溶解性マンガン [mg/l]	4 以下	0.1	0.06	9	0	○	○
	14 クロム [mg/l]	2 以下	ND		9	0	○	○
	15 窒素 [mg/l]	35 (30) 以下	1.0	0.6	9	0	○	○
	16 燐 [mg/l]	0.8 (0.5) 以下	0.08	0.06	2	0	○	○
法令排水基準 未設定項目								

4. 公害防止対策以外の環境保全活動に係る報告

令和2年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	活動項目	細目	目標	実施状況
1	環境負荷の少ない資材の選択	1) グリーン購入の推進	グリーン商品の検討		事務用品で一部実施
		2) 原材料による負荷量低減対策	都市ガスの効率運転	大気汚染物質の削減	継続中
			排水中の窒素削減	排水窒素自主管理基準30mg/Lで管理	①効率的な生産 ②窒素低減装置稼働中
		3) 再生原料の使用促進	再生紙利用推進		実施中
2	省エネルギー，省資源に資する生産技術	◇工場での取組み			
		1) 省電力	設備の効率運転、夜間電力の利用	電力原単位 前年度比削減	操業度低下により未達成
		2) 省蒸気	蒸気の効率使用	蒸気原単位 前年度比削減	操業度低下により未達成
		◇事務所での取組み			
		1) 節電	照明の管理 冷暖房管理	不在時の消灯 退社時蒸気閉める	実施中
		2) 節水	市水使用量削減	各所場での節水	実施中
		3) 省エネ機器	省エネ機器の導入	省エネ機器の導入	蛍光灯からLEDに変更
3	廃棄物の適正処理と減量化	◇工場での取組み			
		1) 廃棄物発生量削減	酸液のロス防止の徹底	発生原単位 前年度比削減	0.04ポイント悪化
		2) 処分場整備と搬入物の管理	産業廃棄物マニフェストの適正管理	電子マニフェストの利用	順次実施中
		◇事務所での取組み			
		1) 事務系廃棄物削減	空缶、紙類の分別回収	回収ボックス整備	分別回収実施中
		2) コピー用紙使用の削減	ミスコピー紙の再利用	各課で徹底	実施中
4	二酸化炭素対策	燃料使用量の削減	燃焼効率向上の検討		検討中
5	水の循環利用の推進	排水の利用	排水利用の推進と技術の検討		未実施
6	自動車対策	マイカー通勤の抑制	登録許可制	許可制の完全実施	実施済
7	従業員教育	事業所の排水規制	工場自主基準について社内教育	工場自主基準順守	実施中
8	地域の環境保全活動への参画	地域環境対策の取組み	生野地域環境問題懇談会 生野自治会懇談会開催 環境対策協議会開催	11月 12月 3月	コロナ影響により未開催。報告資料のみ提供
9	環境に配慮した施設の整備	地域環境への影響調査と改善対策	環境負荷低減の検討		影響調査実施済 飛瀬法面整備中

以上